

# ミサイル日本上空通過

## 北朝鮮発射、襟裳岬沖に落下

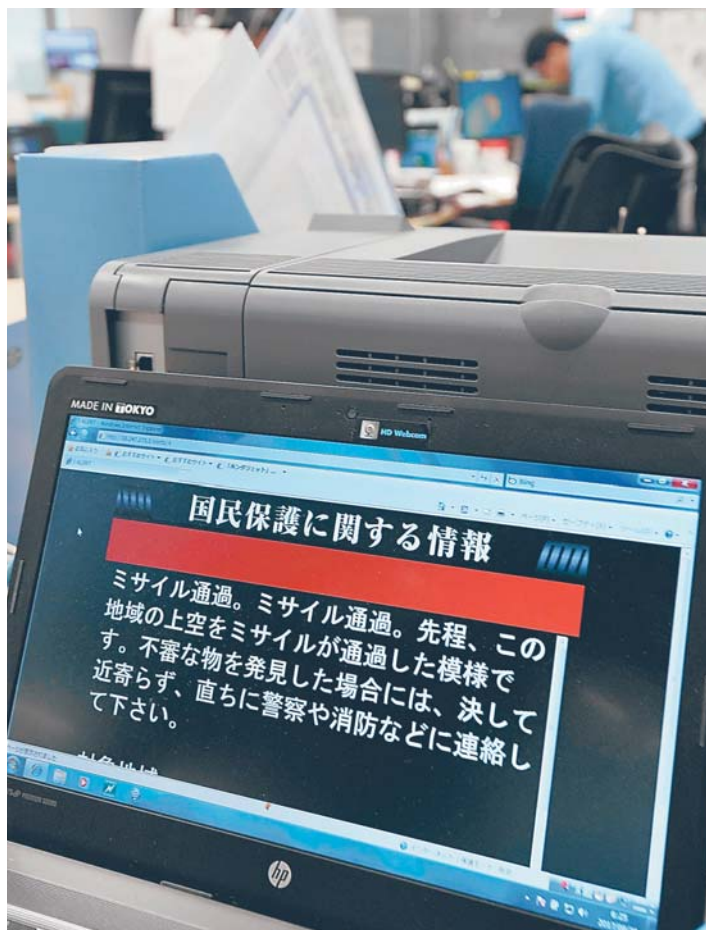
政府によると、北朝鮮は日本時間の29日午前6時前に弾道ミサイルを北東方向に発射した。ミサイルは6時6分ごろ北海道・襟裳岬上空を通過、12分ごろ、襟裳岬の東1180キロの太平洋上に落下した。全国瞬時警報システム（Jアラート）が作動した。日米韓の防衛当局は種類や飛距離などの分析を急いでいる。政府関係者によると、自衛隊法に基づく破壊措置は実施しなかった。

北朝鮮のミサイルが日本列島を飛び越えたのは、南西諸島を除き、2009年4月に人工衛星打ち上げと称して長距離弾道ミサイル「テポドン2号」改良型を発射し

分析を行う」と述べた。「国民の生命をしっかりと守っていくために万全を期す」とも述べた。韓国軍合同参謀本部は、北朝鮮が首都平壤の順安（スンアン）区域付近から日本海に向け、飛翔（ひしゅう）体を発射したと明らかにした。

北朝鮮による武力挑発は今年26日の短距離ミサイル発射以来、米韓は同21日から合同指揮所演習を実施している。演習に対抗した発射でミサイル技術検証に加え、国威発揚を狙った可能性がある。

北朝鮮は8月上旬、米領グアム周辺へのミサイル発射計画検討をいったん明らかにしたが、金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長はその後、当面見送る意向を示唆していた。（共同）



北朝鮮がミサイルを発射したことを伝えるJアラートの画面＝29日午前6時24分、東京都港区